

アフリカ平和再建委員会 活動レポート

<http://www.arc-japan.org>

2020年 2月号



ルワンダ子ども支援基金 緊急のお知らせ！ (小峯茂嗣ARC事務局長)

ARCが2002年から行っている「ルワンダ子ども支援基金」では、ルワンダの低所得世帯の子どもたちも小学校で学べるように、現地のNature Nursery School 小学校を通じて子どもたちの教育支援を行っています。

ところがNature Nursery School である問題が起こりました。この学校の敷地はルワンダ政府から学校教育のために借りているものなのですが、敷地の塀が古くて破損してしまいました。地域の役所から「破損部分を修理しないと危ないので子どもたちを通学させてはダメ」との通達が学校に来たそうです。Nature Nursery School スタッフが業者に見積もりを取ったところ、6,364,000 ルワンダフラン(約 80 万円)かかるとのことでした。この学校の周辺は首都キガリでも開発が遅れていて低所得世帯が多いところですが、その子どもたちにとってNature Nursery School がなければ学校に通うことはとても困難です。1月から新学期が始まりました。子どもたちは一時的に、この地域の他の小学校に通っています。しかしその授業料等は、Nature Nursery School が負担している状態です。Nature Nursery School は無償で低所得層の子どもたちを受け入れています、この問題で受け入れることができないからです。

そこで子どもたちがまたこの学校に通えるように、緊急で塀の修復のための「リターン・トゥ・スクール募金」を呼びかけさせていた

だきたいと思います♪

C&F INNOVATION COMPANY LTD. P.O. BOX 1430 KIGALI, RWANDA. Tel: +250 788530680 Cell: +250_728530680 E-mail: cf.innovcom@gmail.com			
QUOTATION FOR REFURBISHMENT OF THE WALL AT NATURE SCHOOL			
Description	Unity Price	Quantity	Total Price
Iron concrete 14 mm	12,000	52	624,000
Iron Concrete 8mm	4,700	40	188,000
Wire	1,200	20kg	24,000
Planks (wood)	2,600	35	91,000
Wood board	2,000	60	128,000
Sand (One type)Small	60,000	5 trucks	300,000
Sand(2 type)Big	80,000	5 trucks	400,000
Stones	75,000	10 trucks	750,000
Cement	10,000	50 sacs	500,000
Nails	1,300	40kgs	52,000
Water		40 m³	100,000
Water tank (to avoid rain Water collect)	1	10,000Litre	800,000
Tubes 90mm	6,200	10	620,000
Elbows 90mm	1,000	10	10,000
Core	4,500	4	18,000
Tap	9,000	1	9,000
Transport	100,000		100,000
Labor	1,650,000		1,650,000
GENERAL TOTAL			6,364,000

The Managing Director
Clet MURARA

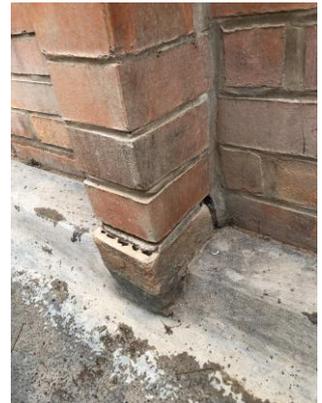
↑ 業者の見積書



ここが Nature Nursery School の校庭の塀です。



塀の下部の破損は雨季の大雨で崩れるかもしれません。



ARCルワンダ子ども支援基金

リターン・トゥ・スクール募金へのご賛同のお願い

10000 円のご寄付で！

通学を再開できた子どもたちの記念写真パネル(A4 サイズ)をご送付させていただきます

50000 円のご寄付で！

記念写真パネルのご送付 + 修復された塀にサポーターの方のお名前を表記させていただきます

サポート振り込み先

郵便振替口座番号

250-2-57833

口座名義人

アフリカ平和再建委員会

ルワンダ子ども支援基金報告—ルワンダの教育事情 (小峯茂嗣ARC事務局長)

Nature Nursery School 理事のイルデフォンスさんが、ルワンダの教育事情について話してくれました。イルデフォンスさんは ARC の「ルワンダ子ども支援基金」で 10 年以上のパートナーです。



ジェノサイド以前のルワンダでは、少数派ツチの子どもたちが学校に通うことは、多数派フツの子どもより困難でした。フツの方が優遇されていました。そしてフツの中でも北部出身の子どもは優遇され、南部出身のフツの子どもが学校に行くことにも困難がありました。私はフツですが南部出身です。フツかツチかの違いだけでなく、出身地の違いでも教育へのアクセスに格差がありました。このような政治的なバイアスがあったのです。ジェノサイド以前のルワンダの学校では、教室で先生が「ツチの子は起立して」「次はフツの人が起立して」なんてことも行われていました。これは何のためにやっていたかという、卒業後に上の学校に進学させる人を仕分けするためでした。その背景にあるのは、北部のある特定の地域のフツが国家権力を握っていたことにあります。だから、フツかツチか、さらにはどこ出身かで、格差を設けたのです。格差の例としては、北部出身のフツの子どもには、よりよい教材を与えたり、特別な授業を行ったりしていました。他にもジェノサイド以前の教育大臣で、子どもをいい学校に行かせたい母親に性的関係を迫るということもまかり通っていました。その教育大臣が退任した後の新大臣は、南部出身のフツが選ばれました。私はその時期に中等学校に進学を考える学年でしたが、南部出身の大臣じゃなければ、きっと進学できなかったと思います(笑)。実際、私の兄は小学校ではクラスで 2 番目の成績でしたが、中等学校に進学するための国家試験では不合格でした。考えられません。

今はみんなひとしく学校に行くことができるようになっていますよ。



出自の差別で教育格差ができたころに比べて、今のルワンダはそういう差別はなくなったようです。でも経済発展の陰で所得格差も広がっています。優秀な教師は高給の私立学校で教えますが、そのような学校には裕福な世帯の子どもしか通うことはできません。低所得世帯の子どもは公立学校に行くか、そもそも学校に行くことすらできない子もいます。

Nature Nursery School は私立学校ですが、低所得世帯の子どものために学校を開設しました。今はルワンダの子どもたちは「みんなひとしく」学校には行けるようになっていますが、貧富の格差が教育の質の格差につながっているとも言われています。それが将来の所得格差につながり、貧富の格差の固定化につながりかねません。その格差による不満が、新たな対立と暴力につながらないか懸念されます。1994 年のルワンダのジェノサイドを扇動した民兵たちも、多くは学校に行けなかったり、その結果いい仕事にも就けなかったりした若者でした。そういう意味で低所得世帯への教育支援は将来の国内の対立や暴力を防ぐ一助と考え、ARC は支援者の皆さんのご寄付を元に、Nature Nursery School を通じて、低所得世帯の子どもたちでも学校に行けるために支援しています。



アフリカ平和再建委員会

Africa Reconciliation Committee: ARC-JAPAN

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-6-1 四谷サンハイツ 511 号室 Tel/FAX: 03-3351-0892

ホームページ <http://www.arc-japan.org>



ツイッター



フェイスブック やっています

アフリカの紛争と平和に関するイベントや情報の発信をしています!